

Noh & Kyogen

The Noh performance will include both Japanese and English subtitles. Subtitles are provided for the vocal performance and will also explain the scenes and various movements portrayed throughout the performance.

字幕e能はじめました! わかりやすい字幕解説 (現代語訳・英訳) 付き

能の公演中にわかりやすい現代語訳や解説を表示する「字幕解説付き公演」です! (日本語&英語) 単なる詞章(ししょう=謡の全文)では無く、公演の場面の説明や型の説明など、能を楽しくご覧頂くための情報をリアルタイムに表示します。

県民のための 能を知る会

【能七部会】は公益財団法人鎌倉能舞台の商標登録です。

能
放下僧
狂言
地蔵舞
解説
仇討ちの能

【昼の部】 十四時始め

鈴木 啓吾
大藏吉次郎
中森 貫太



能
富士太鼓
狂言
膏薬煉
解説
仇討ちの能

【朝の部】 十時始め

中森 貫太
大藏 教義
中森 貫太

鎌倉公演 2018年6月2日(土)

会場：鎌倉能舞台

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13 TEL/FAX.0467-22-5557
E-mail.webmaster@nohbutai.com URL.http://www.nohbutai.com

入場料：各5,500円(座席指定料1,000円)
(団体 5,000円) [追加指定席料：1,000円(どのお席も指定できます)]
お席の指定ご希望の方は鎌倉能舞台宛、お電話ください。

[Noh & Kyogen performance] Saturday 2th June 2018

@Kamakura Noh Theatre (248-0016 Kanagawa-ken Kamakura-shi Hase 3-5-13)
All seat 5500 yen (For morning or afternoon performance)
Tickets are available on line : URL <http://www.nohbutai.com/>
A.M. 10:00 - 12:30 Commentary in Japanese /
Kyogen **KOYAKUNERI** (Noriyosi Ookura), Noh **FUJIDAICO** (Kanta Nakamori)
P.M. 2:00 - 4:30 Commentary in Japanese /
Kyogen **JIZOMAI** (Kitijirou Ookura), Noh **HOKAZO** (Keigo Suzuki)
Subtitles will be shown on the screen by the side of the stage.
English overview is also provided.

【チケット取扱】お電話・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お葉書などで承ります。

【鎌倉能舞台】TEL/FAX.0467-22-5557 (e+(イープラス) <http://eplus.jp>)

主催：鎌倉能舞台 ■後援：神奈川県、鎌倉市 ■助成：神奈川県

公益財団法人 鎌倉能舞台

県民のための

字幕e能[®]はじめました!

わかりやすい字幕解説付き!

能を知る会 鎌倉公演

解説 仇討ちの能

狂言 膏薬煉

能 富士太鼓

質疑応答

中森 貫太

宮本 昇
榎本 元

都の香薬煉 大藏 教義
鎌倉の香薬煉 大藏 教義
富士ノ娘 富坂 唐
富士ノ妻 中森 貫太
部下 野口 能弘
下人 大藏吉次郎
大鼓 柿原 光博
小鼓 久田陽春子
前 寺井 宏明

後見 遠藤 喜久
奥川 恒治
河井 美紀 小島 英明
地謡 中森健之介 駒瀬 直也
桑田 貴志 佐久間二郎

狂言 地蔵舞

解説 仇討ちの能

能 放下僧

質疑応答

中森 貫太

榎本 元
宮本 昇

牧野小次郎 永島 充
小次郎ノ兄 鈴木 啓吾
利根信俊 野口 能弘
信俊ノ下人 大藏 教義
大鼓 柿原 光博
小鼓 久田陽春子
前 寺井 宏明

後見 奥川 恒治
駒瀬 直也
中森健之介 佐久間二郎
地謡 桑田 貴志 中森 貫太
小島 英明 遠藤 喜久

「富士太鼓」あらすじ

宮中で管弦の催しがあった時、富士と浅間という、ともに太鼓の名人同志が芸人の意地の張合いから争い、富士が殺された。富士の妻は虫の知らせか、娘を連れて上京する。役人からその死を知らされ形見の舞装束を渡される。妻はこれをかき抱いて泣く。

やがて舞装束を身に付けた妻は、こうなったのも太鼓ゆえ太鼓こそ夫の仇と、娘とともに太鼓を打ち、気持を晴らして帰る。

実話を能楽化したもので、類曲に主人公を幽霊物とした「梅枝」があります。

◆みどころ◆

子方との掛け合いや同吟(二緒に謡う部分)が長いので、子供との稽古をしっかりとしないと具合の悪い曲です。

「放下僧」あらすじ

下野の住人 牧野小次郎は父の敵を討とうと、出家している兄の助力を求め説得する。敵の利根信俊は夢見を気にして金沢八景の三島神社に参詣しようと思掛ける。放下に変装した一人は禅問答を仕掛けながら隙をうかがうが、敵も豪勇の上、中々隙を見せない。曲舞を舞い羯鼓を打ち、小唄をうたう芸尽しの末、油断を見すまして目出度く本懐を遂げる。当時の風俗もうかがわせる、楽しい曲です。

◆みどころ◆

仇討ち話なので、芝居づけを持って面白く動められる現在能です。黄斑は芸尽くしなので主演の舞らしく行きに舞いたい曲です。

能の公演中に液晶モニターを使って現代語訳や解説を表示する「字幕システム」を導入します! 単なる詞章では無く場面の説明や型の説明など、能を楽しくご覧頂くための情報を表示します。もちろん純粋に舞台を楽しみたい方はモニターを見ずに今まで通り鑑賞頂けますのでご安心下さい。

会場 鎌倉能舞台

日時 2018年6月2日(土) 朝の部 午前10時始 昼の部 午後2時始

入場料 全席自由席各5,500円(団体5,000円) ※チケット代金は税込になります。

【追加指定席料: 1,000円(どのお席も指定できます)】

お席の指定ご希望の方は鎌倉能舞台宛、お電話ください。

※やむを得ず出演者・演目が変更になる場合がございます。

【チケット取扱】お電話・FAX・HP内のフォーム・Eメール・お薬書などで承ります。
(鎌倉能舞台) TEL/FAX.0467-22-5557 (e+(イープラス) http://eplus.jp)

主催:鎌倉能舞台 後援:神奈川県、鎌倉市 助成:神奈川県

鎌倉能舞台

〒248-0016 神奈川県鎌倉市長谷3-5-13
TEL/FAX.0467-22-5557
URL: http://www.nohbutai.com
E-mail: webmaster@nohbutai.com



【交通】JR 鎌倉駅よりバスにて15分(長谷観音前) または江ノ電「長谷」駅下車徒歩7分

